

2025（令和7）年度入学試験問題

国 語

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 試験時間は60分です。
- この問題の本文は全部で18ページ（問題一・二）です。
ネットワーク情報学部では、問題一のみを採点の対象とします。
問題二は、ネットワーク情報学部のみを受験する方は解答しなくても結構です。
なお、同一日に他の学部を受験する方、およびスカラシップ入学試験を受験する方はすべてを解答してください。
- 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 解答は、設問に従って、該当する解答欄にマークしてください。なお、すべてマーク解答問題です。解答にあたっては、必ず黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。
- 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
 - 氏名・受験番号を所定欄に記入し、該当するマーク欄を正確にマークすること。
(機械処理上、非常に重要なので誤記のないよう注意してください。)
 - 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してから改めて書き直すこと。
 - 指定した解答欄以外および枠外の空白部分には何も書かないこと。
 - 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないこと。
 - 解答用紙の解答欄をマークするときは、次の（例）のようにマーク解答欄の番号をぬりつぶすこと。

（例） ③と解答する場合

マ ー ク 解 答 欄										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	
①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	

- 問題冊子の余白等は適宜利用してかまいません。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問題一（現代文）

全員が解答してください。

問題一 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

いま私は矛盾について考えている。特に、ひとが矛盾を抱えながら生きることについて、そしてそれがどうして私にとって魅力的に見えるのかについて。

哲学では昔から、人間は理性的動物だと言われる。理性に基づいた判断をおこない、それに導かれてさまざまな行為をする。それが人間なのだ、と。もちろん哲学者ごとにこのあたりの説明についてはばらつきがあるだろうが、オオザッパ^Wに言えば、理性に基づいた判断というのは、行為をする際にきちんとそれをすべき理由について考えて、十分な理由のある行為をしようとする、といったことだ。

私が血液検査を受けた結果、中性脂肪の値が高すぎて心配になったとしよう。心配なものだから、次に検査を受けるときまでには中性脂肪の値をいまより下げておきたいと私は考える。さらに、運動をすれば中性脂肪の値が下がると私は思っているとする。このとき、私には運動をするのに十分な理由があると判断できる。その判断に従って私が運動を始めたなら、それは理性的な振る舞いだろう。運動をすべき理由についてきちんと考えて、十分な理由があると判断したうえで運動をしているのだから。そんなわけで理性的な動物である私は、このところ毎日のようにエアロバイクをせせと漕いでいる（少し前に受けた検査で実際に中性脂肪の値が高かったのだ）。

だが、これが理性的な振る舞いなのだとしたら、たいていの人間は実はそこまで理性的ではない。私は、甘いものを控えるのが中性脂肪の値を抑えるのにキヨ^Xすると思っっているのに、甘いものを控えられずにいる（ちよつとは減らしているけれど……）。実際、甘いものを控える十分な理由があると判断しているにもかかわらず、私はきょうも最近お気に入りの^{いちじ}苺ソースがたっぷりかかったわらび餅のコンビニスイーツを食べてしまった。これは、すべき理由のない行為であるし、それどころかそれをしないほうが良いと考える強い理由がある行為であって、それなのにそんなことをしてしまうのは不合理というほかない。

^Aこうした不合理はしばしば「意志の弱さ」と呼ばれていて、ずっと昔から哲学者たちの頭を悩ませる問題のひとつとなってい

とはいえ、それでもなお理性は多くの哲学者が人間について考えるときの重要な立脚点であり続けている。というより、理性を^B

例えば私（三木那由他）の目の前に紅茶があり、私がその紅茶を飲んだとする。ここには「三木那由他の目の前に紅茶がある」

a	⌊, ⌋
b	⌊, …, など

の私の心理に関する前提を付け足すと、目の前に紅茶があるというその場面でなぜ私がその紅茶を飲んだのかを説明するような推論を構築することができると。グライスは、私たちは他人の心理について、それどころか自分の心理についても、このようにして理解しているのだと考えた。

Y
 なんてなかった可能性もあることになるのだから。そうすると、もはやひとの心理と行為とをまともに結

びつけることもできなくなってしまつて、推論をもとにひとの心理を理解するということ自体が意味をなさなくなるだろう。

グライスとまったく同じ考えではないにせよ、少なからぬ哲学者が似たような仕方、心理の理解には心理の帰属^ズ先となつてゐるひとが理性的であるという前提が必要だと捉えている。例えば言語哲学者のドナルド・デイヴィッドソンなども折に触れてそういったアイデアを語っており、その観点から意志の弱さの問題に取り組んでいる。

でも、本当に私たちは理性を前提としないと他者を、さらには自分のことも理解できないのだろうか？ 理性というのは、そんなにひととひととの交流において大事なものののだろうか？ 非理性的な振る舞いは例外的で解決すべき哲学的パズルにすぎないのだろうか？ たぶん私は、そこに引っかけりを覚えている。むしろ理性から外れたところにこそ、理解の鍵があるのではないか？

率直に言つて、漫画や小説を読んでいるとき、登場人物が理性的に振る舞う場面よりも、理性的でない振る舞いをする場面に魅力を感じる傾向が、私にはあるように思う。例えば、強大な力を持つ悪党^{ヴィラン}が暴れるなか、何の力も持たない子どもが、何もかも警察やヒーローに任せて自分は逃げるという選択が正しいはずだとわかつていながら、それでも倒れたヒーローを守ろうととつさに悪党の前に飛び出す。そんなことをしても何にもならないとわかりながらも危険に身をさらすその振る舞いは、はつきり言つて不合理だ。でも、だからこそその姿が、私にはとても魅力的に思える。

職務に忠実な刑事が、顔なじみの私立探偵から情報提供を求められる。刑事は部外者に情報を漏らしてはならないということを理解している。他方で、私立探偵に情報を提供することが事件解決への近道だとも知っている。職務意識においては情報を伏せるのが最善であると判断し、かつ同時に、事件解決のためには情報を提供するのが最善であるとも判断しているなら、その刑事は矛盾を抱えている。そしてその矛盾を抱えながら、「部外者に情報を教えるわけにはいかない。だが、少し煙草^{たばこ}でも吸つてこようと思う」などと言つて席を立ち、自分が席を立っているあいだに捜査資料を覗き見^{のぞ}するようそれとなく探偵に促すといった振る舞いをする。情報を伏せる場合と与える場合を比較して一方が望ましいと考える理由など刑事にはまったくにもかかわらずこうし

た振る舞いをしたのだとしたら、むしろ私にはその刑事の人格が伝わってくるように思える。

なぜ私はこうした人々に魅力を感じるのだろうか？ 十分な理由もなしに行為をする不合理なひとたちなのに。いや、むしろ十分理由もなしに行為を選択する、そのときの決断や直感に、私はそのひとたちの人間性を見ているのではないか？

矛盾する気持ちや矛盾する考えを抱え、しかもそのいずれを優先する理由もはっきりとは得られないときがある。先ほどの例の刑事には、情報を伏せることと情報を提供することのうち一方を選ぶ強い理由は何もなかった。それでも、無理やり遠回しな表現を利用してまで、刑事は情報を提供することを選んだ。それはきつと、十分な理由があるからそうしたというのではなくて、理由はなくてもこうしようという決断や、根拠のない直感によって促された行為なのだろう。そして、理由が得られないのにそれでもその場面で情報を提供することを決断するというのが、その刑事という人物なのだ。危険に身をさらす子どもの例も同様で、そんなことをすべき理由は何もないとわかっているのに、とっさに身を挺して自分よりも強いヒーローをかばう。その直感に私たちは次世代のヒーローとなる者の姿を見出す^いの^だだろう。「そうすべき十分な理由があると判断したから身を挺してかばう」では、^D理性的ではあるかもしれないが、ヒーロー的ではない。

考えてみれば、理由があつてそれを選ぶというのは、理性的であるなら誰でもするはずのことであつて、その意味でそのひとに固有の何かではないように思える。だから逆に、理由もないのに何かを選ぶというところにこそ、そのひとにしかない何かが見出されるのだろう。私はきつと、そうしたものを拾い集めるようにしてひとりの人物の人間性を理解しているのだ。理性を前提としないとひとを理解できないどころか、非理性的な振る舞いこそがひとの人間性を映し出す鏡となっているのではないか。

（三木那由他「言葉の風景、哲学のレンズ」による。ただし設問の都合上、一部を改変した）

問一 傍線部W「オオザッパ」の「パ」を漢字で書き表すとき、その漢字と組み合わせる二文字の熟語となるものを次の①～⑤の中

から一つ選び、解答欄 1 にマークしなさい。

- ① 遣 ② 壊 ③ 電 ④ 握 ⑤ 伝

問二 傍線部X「キヨ」を漢字で書き表すとき、「キ」の訓読みとして正しいものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 2 にマークしなさい。

- ① いのる ② かえる ③ よる ④ くる ⑤ もとづく

問三 傍線部Y「なんて」と意味・用法が同じものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 3 にマークしなさい。

- ① これはなんていう名前の花ですか
 ② 私は名誉なんて欲しくない
 ③ この景色、なんてきれいなんでしょう
 ④ 誰がなんて言っても、私はあきらめない
 ⑤ 実際にやってみるとなんてことはなかった

問四 傍線部Z「帰属」の意味として正しくないものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 4 にマークしなさい。

- ① 元々いた場所に戻ることに
- ② 何ものかの集団の中に入り、従うことに
- ③ ある機関の一員として一定の役割を担うことに
- ④ 何ものかに属し、その所有となることに
- ⑤ 特定の個人や国などのものになることに

問五 傍線部A「こうした不合理性」とあるが、その具体例としてあてはまるものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄

5 にマークしなさい。

- ① 私は甘いものを控えずにいるが、ちょっとは減らすことはできた
- ② 私は理性的な振る舞いをしているが、たいていの人間はそこまで理性的ではない
- ③ 私は甘いものを控える十分な理由があるのに、きょうもコンビニスイーツを食べてしまった
- ④ 私はエアロバイクを毎日のように漕いでいるのに、少し前に受けた検査で中性脂肪の値が高かった
- ⑤ 私はすべき理由がある行為と判断し、最近お気に入りの苺ソースがたっぷりかかったわらび餅を食べた

問六 傍線部B「理性を重視しているからこそ、人間が理性的でない可能性を示す意志の弱さの事例が注目されるのだろう」とあるが、その理由としてもっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 6 にマークしなさい。

① グライスによれば、理性とは推論を構築して物事にその理由を与える能力であり、推論をもとにして、人間の行為と心理も関係づけられているから

② 「意志の弱さ」は、古代ギリシア語の「アクラシア」という言葉がいまだに哲学業界で使われているように、ずっと昔から哲学者たちの頭を悩ませる問題のひとつであるから

③ 「意志の弱さ」に注目することにより、なぜ、甘いものを控えるのがよいという判断がなされつつ、それとは正反対に甘いものを控えずに食べるという行為がなされるのかを説明できるから

④ ひとの心理の理解が推論に基づいているなら、「意志の弱さ」によって矛盾や不合理が生じてしまつては困るから

⑤ もしも「三木那由他は喉を潤したい」と「三木那由他は喉を潤したくない」が同時に成り立つとしたら、私が紅茶を飲んだという事態が成り立たなくなってしまうから

問七 空欄

a

b

7 にマークしなさい。

に入る表現の組み合わせとして正しいものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄

① a 三木那由他は喉を潤したい

b 三木那由他は紅茶を飲む

② a 三木那由他は紅茶を飲む

b 三木那由他は喉を潤す

③ a 三木那由他は喉を潤したい

b 三木那由他は喉を潤したくない

④ a 三木那由他は紅茶を飲めば喉が潤うと思っている

b 三木那由他は紅茶を飲んで喉を潤す

⑤ a 三木那由他は喉を潤したい

b 三木那由他は紅茶を飲めば喉が潤うと思っている

問八 傍線部C「十分な理由もなしに行為を選択する、そのときの決断や直感に、私はそのひとたちの人間性を見ているのではないか？」とあるが、その説明として適当でないものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄

8 にマークしなさい。

① 私は、ひとが矛盾する気持ちや矛盾する考えを抱え、しかもそのいずれを優先する理由もはっきりとは得られないという姿に惹かれるということ

② 私は、漫画や小説を読んでいるとき、登場人物が理性的に振る舞う場面よりも、理性的でない振る舞いをする場面に魅力を感じる傾向があるということ

③ 職務に忠実な刑事が、矛盾する判断を抱えながら、顔なじみの私立探偵に情報を提供したとしたら、私にはその刑事の人格が伝わってくるように思えるということ

④ 何の力も持たない子どもが、自分は逃げるという選択が正しいと分かっているが、危険に身をさらす振る舞いをする姿が、私には魅力的に思えるということ

⑤ 私は、職務に忠実な刑事が、理由が得られないのにその場面で情報を提供することを決断するというのが、その刑事という人物なのだと思うということ

問九

傍線部D「理性的ではあるかもしれないが、ヒーロー的ではない」とあるが、その理由としてもっとも適当なものを次の①

⑤の中から一つ選び、解答欄

9

にマークしなさい。

- ① その場の状況から、とっさにそうすべき理由があると判断することができ、身を挺して自分よりも強いヒーローをかばおうとするのが、ヒーロー的であるから
- ② 特にはっきりとした理由はなくても、こうしようという決断をしたり、根拠のない直感によって促された行為をしたりするのは、ヒーロー的ではないから
- ③ そんなことをすべき理由は何もないとわかっているのに、とっさに自分よりも弱い子どもをかばおうとする直感を持つ者が、次世代のヒーローとなるから
- ④ 理由があると判断して選ぶのは理性的であれば誰でもすることであり、理由もないのに何かを選ぶというところにそのひとにしかない何かが見出されるから
- ⑤ ひとが理性的であるという前提をもとに、ひとを理解することはできないが、理性的な振る舞いを鏡にして、そのひとの人間性を映し出すことはできるから

問一〇 後のア～オのうち、本文の内容に合致するものの組み合わせを次の①～⑦の中から一つ選び、解答欄 10 にマークしなさい。

- ① アイエ ② アエ ③ イウオ ④ イオ ⑤ ウエ ⑥ ウエオ ⑦ エオ

ア 哲学では、人間は理性に基づいた判断をおこなない、それに導かれて様々な行為をする理性的動物であるという考え方があ
るが、哲学者によつて賛否が分かれている

イ 哲学で言われる理性に基づいた判断とは、行為をする際にそれをすべき理由について考えて、十分な理由のある行為をし
ようとするものである

ウ 言語哲学者のドナルド・デイヴィッドソンは、心理の理解にはひとが非理性的であるという前提が必要という観点から意志
の弱さの問題に取り組んでいる

エ 私は、理性から外れたところにひとの心理の理解の鍵があると考えているので、非理性的な振る舞いを哲学的パズルに
よつて解決しようとしている

オ 私は、ひとりの人物の非理性的な振る舞いから見出されるものを拾い集めるようにして、そのひとの人間性を理解してい
る

問題二（古文）

ネットワーク情報学部では採点の対象となりません。

ネットワーク情報学部のみを受験する方は解答しなくても結構です。

ネットワーク情報学部以外の学部を受験する方、ネットワーク情報学部と他学部を併願している方、およびスカシップ入学試験を受験する方は解答してください。

問題二 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

中ごろの事にや、事もなき法師の^A、世にあり侘びて、京より^(注1)日吉の社へ百日参るありけり。八十余日になりて、下向するさまに、大津といふ所を過ぎけるに、ある家の前に、若き女の^ア、人目も知らずさくくりもあへず、よよと泣き立てるあり。

この僧、事のけしきを見るに、「何事とは知らねど、世の常のうれへにはあらず。極まれる事にこそ」といとはしく覚えて、さしよりて「何事をか悲しむ」と問ふ。女の言ふやう、「御姿を見奉るに、物語でし給ふ人にこそ。ことさらえなん聞こゆまじき」と言ふ。「^Bはばかりべき事なめり」と推しはかられながら、あはれみのあまり、やや^{ねんご}懇ろに尋ねれば、「その事に侍り。我が母にて侍る者の、日ごろ悩ましかりつるを、今朝つひに空しくみなして侍るなり。さらぬ別れのならひ、あはれに悲しきことはさるものにて、いかにしてこれを引き隠すわざをせんとさまさまめぐらせど、やもめなれば、申し合はすべき人もなし。我が身は女にて力及び侍らず。隣り里の人はまた、なほざりにこそ『あはれ』と訪ひ侍れ、神のわざしげきわたりなれば、まことにはいかがはし侍らん。とにかくに思ひ得る方なくて」なんと言ひもやらず、さめざめと泣く。

僧これを聞くに、「げに、さこそは思ふらめ」と、わりなくいとほしくて、やや久しくともに泣き立てり。心に思ふやう、「神は人をあはれみ給ふ故に、濁る世に跡を垂れ給へり。これを聞きながら、いかでか情なく過ぎん。我かくほど深きあはれみを起こせること覚え。仏も鑑み給へ。神も許し給へ」と思ひて、「な侘び給ひそ。我ともかくも引き隠さん。外に立てれば、人目もあやし」とて、はひ入りぬ。女泣く泣く喜ぶこと限りなし。

かくて日暮れぬれば、夜に隠して便りよき所に移し送りつ。その後、いも寝られざりけるままに、つくづくと思ふやう、「さても、八十余日参りたりつるを、いたづらになしてやみなんこそ口惜しけれ。我この事名利の爲にもせず。ただ参りて神の御誓ひの様をも知らん。生まれ死ぬるけがらひは、いはば仮のいましめにてこそあらめ」と強く思ひて、暁、水浴みて、これよりまた日吉へうち向きて参る。道すがら、さすがに胸うち騒ぎ、そら恐ろしきこと限りなし。

参り着きて見れば、二の宮の御前に、人所もなく集まれり。ただ今、十禅師の巫に憑き給ひて、様々の事をのたまふ折節なり。

この僧、身Eのあやまりを思ひ知りて、近くはえ寄らず、物隠れに遠く居て、かたの如く念誦ねんじゆして、日を欠かぬことを喜びて帰らんとするほどに、巫はるかに見つけ、「あそこなる僧は」と言はれて、心おろかなるやは。されど、逃るべき方なくて、わななくわななくさし出いでたれば、ここら集まれる人、いとあやしげに思へり。近々と呼び寄せて、のたまふやうは、「僧の昨夜よんべせし事を明らかに見しぞ」とのたまへるに、身の毛よだちて胸ふたがりて、生ける心地もせず。重ねてのたまふやう、「汝なんぢ恐るることなかれ。」(注5)いしくするものかなと見しぞ。我もとより神にあらず。あはれみの余りに跡を垂れたり。人に信をおこさせんがためなれば、物を忌むこともまた、仮の方便なり。さとりあらん人は、おのづから知りぬべし。ただ、この事人Fに語るな。愚かなる者は、汝があはれみのすぐれたるにより制(注6)することをば知らず、みだりにこれを例として、わづかに起こせる信もまた乱れなんとす。諸々の事、人によるべき故なり」と、こまやかにうちささやきてのたまふ。僧の心、ななめならずあはれにかたじけなく覚えて、涙を流しつつ出でにけり。

その後、事にふれて、利生とおほゆる事多かりとなん。

〔「発心集」による〕

(注1) 日吉の社……滋賀県大津市坂本にある日吉神社

(注2) 引き隠す……埋葬する

(注3) 濁る世に跡を垂れ給へり……この世に姿を現した、ということ

(注4) 十禅師の巫に憑き給ひて……「十禅師」は日吉神社の諸社の一つにまつられている神。「巫」は神に仕え、神と人との仲立ちをする人

(注5) いしくするものかな……よくぞ立派に行ったことよ

(注6) 制すること……あえて禁忌を犯したこと

問一 傍線部A「の」と同じ用法の「の」は波線部ア～エのうちのどれか。もつとも適当なものを次の①～④の中から一つ選び、

解答欄 11 にマークしなさい。

- ① ア 若き女の、人目も知らず……
- ② イ 事のけしきを見るに……
- ③ ウ 女の言ふやう……
- ④ エ あはれみのあまり……

問二 傍線部B「はばかりべき事なめり」に含まれる助動詞をすべて終止形で示したものとしてもつとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 12 にマークしなさい。

- ① る べし なり めり
- ② べし なり めり
- ③ べし ぬ む り
- ④ る き ぬ めり
- ⑤ ぬ む り

問三 傍線部C「わりなくいとほしくて」の意味としてもっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄

13

に

マークしなさい。

- ① 許されぬことだが愛しく感じて
- ② 奇妙にも心が引きつけられて
- ③ この上なく不憫ふびんに思われて
- ④ 悲しく気の毒なことだと思って
- ⑤ とても必要なことだと思われて

問四 傍線部D「いたづらになしてやみなんこそ口惜しけれ」の解釈としてもっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、

解答欄 14 にマークしなさい。

- ① 無理に参詣を続けて御利益がなくなるとしたら後悔することになるだろう
- ② 禁忌を犯したために罰ばちが当たり病氣になったのは仕方がないことだった
- ③ たかが死の穢けがれに触れたくらいのことですて途絶えさせることはなかった
- ④ 無駄なことにして終わってしまうとしたらそれは残念なことだ
- ⑤ 無益なことばかりして一生を終えてしまうのは悔やまれることよ

問五 傍線部E「身のあやまり」についての説明としてもっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄

15

に

マークしなさい。

- ① 目立たない衣装に着替えることもなく、僧侶の姿のままで参詣してしまったこと
- ② 神社に参詣を続けている最中、死者の埋葬によって穢れに触れてしまったこと
- ③ 人の少ない時刻を見誤って、人が多く集まる時刻に参詣してしまったこと
- ④ 僧侶の身がありながら、若い女性に対して恋情を抱いてしまったこと
- ⑤ 誰にも見つからないように身を隠していたのに、巫に見つかってしまったこと

問六 傍線部F「この事人に語るな」とあるが、その理由としてもっとも適当なものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄

16

にマークしなさい。

- ① 僧の行いを聞いて、神社に参詣する途中で死の穢れに触れてもかまわないという先例として受け止める人が出てくると困るから
- ② 人にあわれみを施すためであれば、僧が女人に対してみだらな思いを抱いてもかまわないと考えてしまう人がいると困るから
- ③ 穢れを避けるべきかどうかは自分で判断することなのに、判断を他人に任せるほうがよいと勘違いしてしまう人がいるに違いないから
- ④ 穢れを避けるべきかどうかは時と場合によるものなのに、必ず避けなければならないと考えてしまう人がいるに違いないから

問七 本文の内容と合致するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 17 にマークしなさい。

① 僧が日吉神社から帰る途中に出会った女は、日ごろ悩みを抱きつづけていたのだが、それが今朝ついに解決したのだと僧に告げた

② 女の母を葬った僧は、その日は参詣することができないので、日吉神社の方角に向かって礼拝し、それを一日分の参詣の代わりとした

③ 参詣の途中で死の穢れに触れた僧は、水を浴びて身を清めれば問題はないはずだと聞いて、再び日吉神社への参詣を続けることにした

④ 女の母を葬った翌日、僧は巫に憑いた神から「昨夜したことをはっきりと見たぞ」と言われて、恐ろしさに生きた心地もなかった

⑤ 巫に憑いた神は、僧が昨夜、女に対して行ったことは許されることではないので、それをけっして人に語ってはならないと僧に告げた

問八 「発心集」と同じ作者による作品を次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 18 にマークしなさい。

① 十訓抄 ② 徒然草 ③ 無名抄 ④ 奥の細道 ⑤ 土佐日記